



外来担当医表

〈令和2年4月現在〉

		月	火	水	木	金	土
午前	1	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	柿下 (糖尿病・ 甲状腺内科)	柿下 (糖尿病・ 甲状腺内科)
	2	松清 (立) (腎臓内科)	関上 (循環器内科)	松本 (1・3週) (腎臓内科) 植木 (2・4週) (腎臓内科)	中村 (循環器内科)	松清 (立) (腎臓内科)	岩前 (呼吸器内科)
	3						東大医師 交代制 (リウマチ科)
午後	1	松清 (立) (1・2・4週) (腎臓内科)	中村 (循環器内科)	中村 (循環器内科)	岩前 (呼吸器内科) * 3時～4時	休診	休診
		中村 (3週) (循環器内科)					

* () は医師の専門科目であり、一般内科診療も行います

受付時間	〈午前〉8時30分～11時30分 〈午後〉月～水：1時30分～3時30分 木：2時30分～3時30分
診療時間	〈午前〉9時～12時 〈午後〉月～水：2時～4時 木：3時～4時
休診日	金曜午後、土曜午後、日曜、祝日、年末年始(12/30～1/3)
お問い合わせ	地域医療連携室 TEL 0276-88-8611

医療法人社団
醫光会

おうら病院



けやき

おうら病院地域連携室だより

令和2年 夏号

病院理念

やさしさに出会う医療を やすらぎに出会う医療を そして、生きがいに出会う医療を

基本方針

1. 患者様の権利と意思を尊重し、合意と理解に基づく「患者様主体の医療」を行います
2. チーム医療を実践し良質かつ安全な医療を提供します
3. 地域の医療機関・福祉施設と密な連携を図り、地域医療の発展に貢献します
4. 職員一人一人が技術のさらなる習得に励み、最良の医療の提供を目指し、明るく豊かで思いやりのある病院づくりを行います
5. 医療資源の適正利用と健全経営を遂行します

令和2年4月1日改訂

理事長挨拶 駒井 太一

おうら病院は、地域から必要とされる病院、愛される病院を目指しております。医療機関として地域から求められている事を、誠実におこなって参ります。

おうら病院は、一般病床39床、療養病床41床と透析施設を有しております。病床がある、透析施設があるというだけでなく、一人一人のスタッフが、より良い医療を提供していきたいとの思いに溢れております。治療、リハビリやケアをする上で、思いや技術の大切さを、個々のスタッフが理解をしております。

糖尿病、心臓病、慢性腎不全といった疾患への医療と高齢者医療を通じて、地域医療に貢献していきたいと考えております。糖尿病に関しては、本年4月から就任した秋山院長の専門科であり、高いレベルの医療を提供できる体制となりました。循環器に関しては、4月から常勤2名体制になりました。80列マルチスライスCTを有しており冠動脈CTによる胸部症状の精査や、心不全などの循環器疾患の加療に積極的に貢献できる体制になりました。必要な時に迅速に質の高い入院診療を提供して、患者様やご家族に心からの満足を感じて頂けるように、スタッフ一同が日々研鑽しております。

理念である『やさしさに出会う医療を、やすらぎに出会う医療を、そして生きがいに出会う医療を』を守り実践していく為にも、皆様方との密な連携の中で、ご指導とご鞭撻を頂き、おうら病院が変わっていかなくてはならないと思います。今後とも、何卒宜しく願い申し上げます。

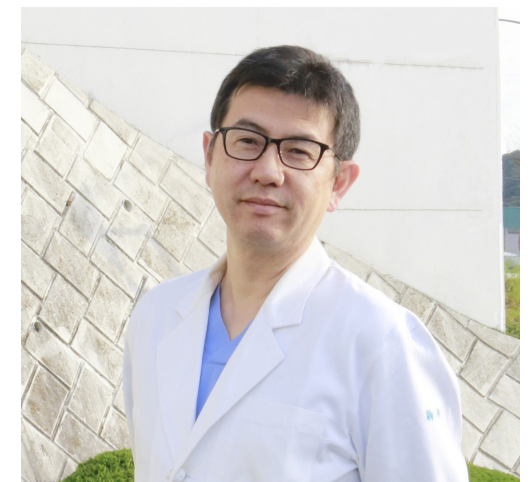
Contents

就任挨拶 病院長 秋山 仁

診療体制のご案内

新入職医師の紹介

外来医師担当表



Profile

日本内科学会総合内科専門医・認定医

日本循環器学会循環器内科専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定医

医療法人社団三思会 理事長

医療法人社団醫光会 理事長

発行：おうら病院 地域医療連携室 発行日6月吉日
所在地：〒370-0615 群馬県邑楽郡邑楽町篠塚3233-1
電話：0276-88-8611 (地域医療連携室 直通)
0276-88-5678 (代表)
FAX：0276-88-5992

就任挨拶 病院長 秋山 仁

このたびおうら病院長に任じられ過日就任しました秋山仁と申します。まずは簡単に自己紹介申し上げます。出身は埼玉県熊谷市で高校まで過ごし、昭和58年に群馬大学医学部を卒業後第一内科に入局、前橋赤十字病院で研修を受けた後、みどり市にあります東邦病院で30年以上にわたり糖尿病診療を中心にキャリアを積んでまいりました。糖尿病診療における私のモットーは低血糖を起こさせない、体重を増加させないことで、最終的には、患者様個々にあった治療法を通し、心臓を守り、腎臓を保護する医療です。そして糖尿病学会が掲げる健康な人と変わらないQOL(生活の質)の維持と寿命の確保となります。

おうら病院は平成12年の開院以来、長期療養のみならず、アレルギー疾患や図らずや末期腎不全に陥ってしまった方々の透析治療を担う地域に根差した病院としての役割を果たしてまいりました。この20年潤った伝統ある医療機関の院長職を拝命し、その貴重に身も引き締まる思いです。

少子高齢化が進み医療や介護の負担が増していく中、入院、施設、在宅を問わず、医療、リハビリ、介護については今後もさらに厳しい状況になっていくことが予想されますが、近隣の医療機関や介護施設との連携を通して、患者様やそのご家族が安心できる医療を提供していきたいと考えます。

当院には現在150名の透析患者様がいらっしゃいますが、その多くは糖尿病に起因する慢性腎不全です。平成31年より群馬県における糖尿病腎症重症化予防プログラムが進められておりますが、邑楽館林地域における重症化予防の基幹病院としてその一翼を担っていく所存であります。至らない点も多々あるとは存じますが、厳しくご指導いただければ幸いです。今後ともおうら病院をご支援いただくようよろしくお願い申し上げます。の挨拶とさせていただきます。



Profile

日本内科学会
日本糖尿病学会
日本内分泌学会
糖尿病療養指導医

新入職医師の紹介

循環器内科 中村 真理

皆様、こんにちは。

4月1日より、おうら病院に就任しました中村と申します。

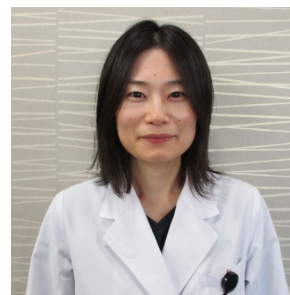
専門は循環器内科です。また、内科全般の高齢者医療にも力をいれております。高齢者の死亡原因の第2位（90歳以上は第1位）を占めている心疾患ですが、高齢者の場合治療が一筋縄ではいかない場合が多くあります。

例えばある程度の年齢までは、急性心筋梗塞を発症された方には、緊急でカテーテル治療を行い、心房細動を発症された方には、抗凝固療法に加え、カテーテルアブレーションを行なうなどの1対1の治療でよい場合が多いかと思えます。

しかしながら、年齢が高くなると、心不全を発症された方の背景には、昔の心筋梗塞と、不整脈と、高血圧があり、さらにその方の全体像をみると、腎機能障害もあり、サルコペニアも進んでいるといった様々な疾患を合併されている場合が多々あります。

生きるうえでの要である、心臓の治療を行いながらも、全身状態にあわせた他疾患の治療も行っていきたいと考えております。

今後のご指導ご鞭撻の程宜しく申し上げます。



Profile

日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会内科
専門医・指導医

診療体制の変更に関するお知らせ

おうら病院の診療機能

診療担当医紹介

糖尿病内分泌内科	秋山 仁
糖尿病内分泌内科	柿下 広文
循環器内科	関上 豪一
循環器内科	中村 真理
腎臓内科	植木 嘉衛
腎臓内科	松本 孝之
腎臓内科	上野 格成
腎臓内科	松清 立
腎臓内科	松清 美彩
腎臓内科	奥田憲太郎
呼吸器内科	岩前 成紀
リウマチ科	道下 和也
リウマチ科	原田 広顕
リウマチ科	高橋 秀侑
リウマチ科	諏訪 雄一
内 科	駒井 寛

外来について

循環器内科、呼吸器内科、リウマチ内科もこれまで以上の医療を提供させていただきますが、特に糖尿病内科と、腎臓内科の診療枠を増設しました。

今回、診療圏では特にニーズの高い腎臓内科より、医師のコメントを頂きましたので、ご紹介させていただきます。

令和2年4月より、外来を担当させて頂いています。これまで腎臓内科医として積み上げてきた経験と知識を活かし、地域医療に貢献できるよう微力ながら尽くして参りたいと思います。

腎疾患の中でも主に慢性腎臓病のstage 4以降の患者様を診療させて頂いています。現状の腎機能の評価や薬剤調整、あるいは栄養指導のみのご依頼でも構いませんので、お気軽にご相談下さい。一方で、非常勤外来診療であるため、入院を必要とする急性腎障害や腎生検の対象となる腎炎/ネフローゼ症候群の対応は難しく、その際は、腎臓内科専門医が常勤する病院にご紹介頂くようお願い申し上げます。



腎臓内科 松清 立

Profile

日本内科学会総合内科
専門医
日本腎臓学会専門医
日本透析学会専門医

4月1日より、外来診療時間及び診療体制を変更致しました。このことについては、外来医療の機能分化と、入院医療の充実を図ることで、連携医療機関や高齢者・福祉施設からのご紹介、救急・急患の受入に迅速に対応する病院本来の役割を担うためのものです。三次救急や基幹病院ほどの機能は必要ないが、入院を要する状態である患者様、施設入居者様の急な容体変化、急性期病院からの療養目的入院、レスパイト入院、手術適応でない安静が必要な骨折患者様の入院、急な検査等、様々なニーズに対応し、地域医療への貢献を果たすべく、この度の変更を取らせていただいた次第です。

月曜日(9時00分から18時00分)から土曜日(9時00分から12時30分)までは、患者様をスムーズに受け入れ対応できるよう、常勤の受入担当医師を常時配置しております。それ以外の時間帯であっても、当直医が対応させていただきます。

また、透析病床数4床の増床を図り、総数を56床と致しました。入院、外来透析ともに受け入れておりますので、対象患者様がおられましたら、まずはご一報いただきたく存じます。

おうら病院は、おかげさまで、今年6月1日に創立20周年を迎えました。これからも職員一丸となり、患者様にとって安全・安心で良質な医療の提供を目指し、地域に根差した病院づくりに努めて参る所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

事務長 高草木 直人